

# 地域の観光資源を見直そう

## ひのぐんの魅力シンポジウム



まちの魅力について熱く語るパネラーたち

者から「身近な観光資源を知れて良かったが、それをどう活用していくかが今後の課題である」などと報告がありました。

その後の「観光による元気な日野郡づくり」をテーマにした意見交換会では、日野町から石田茂雄さん(黒坂)が司会役、森田順子さん(根雨)が取り組みを報告、勝瀬節雄さん(根雨)が意見集約役として出演しました。

日野郡の観光資源を掘り起し、魅力ある地域づくりを考えようと、2月28日、ひのぐんの魅力シンポジウムがJA鳥取西部日野町支所で開かれました。

シンポジウムには、日野郡内から約80人が参加。郡内の自然や観光資源を見直し、その活用方法について話し合いました。

始めに、昨年11月に催された地元魅力再発見ツアーの報告があり、ツアー参加

森田さんは、オシドリグループを代表して、親切な案内人がいなければ、感動を与えることはできないと思います。これからは案内ボランティアの育成が大切な課題です。今後オシドリを通じて全国の人々と交流を深めていきたいです」と話し、勝瀬さんが「今の観光施設は点。それを線で結んでいくことが日野郡全体の活性につながるのでは」と全体をまとめました。

## 一人ひとりが輝けるまちに



人権について一人ひとりが考える

各地区で小地域座談会生活の中にあるさまざまな人権問題について考えようと、3月8日、上本郷地区の小地域座談会が上本郷公民館で開かれました。

参加した約15人は、暮らしの中の人権について話し合い「人と人との関係は、家庭や地域から始まる。一つの輪になることが大切では」となど積極的に意見を述べていました。

小地域座談会(町人権・同和推進協議会主催)は、人権を大切にしたいというまちづくりを進めようと、毎年、町内全地域での実施を目標に取り組んでいます。

## 地域の問題や課題を考える

### 野田地区がワークショップを開く

自分たちの住む地域をもっとみんなで考えようと、3月6日、野田地区(山脇勉自治会長)で、野田地区ワークショップが開かれました。

この日は、同地区の子どもから高齢者まで約50人が参加予定では外に出かけ、探索地図を作りながら地域の課題や魅力を探索しようとしていましたが、悪天候のため、野田みちくさの館を会場に、室内で話し合いをしました。

参加者は、人が集まるもの

「自然まるごと」「自慢でもの」「未来に残したいもの」の4班に分かれ、年代を超えて積極的に意見を出し合っていました。

全体発表では、各班が意見をまとめ「河川整備をして散策道を作ってみては」「世代を超えた体験学習をしていきたい」「地域の歴史の掘り起すには、みんなで学習する必要があります」などと発表しました。ワークショップは、自分たちの住んでいる地域を改めて見つめ直し、地域全体で問題や課題を見つけ出す方法です。



各班ごとに問題点や課題について話し合う

住みよい地域にするには、どうすればいいのか話し合い、みんなでその方法を考えていく取り組みで、野田地区では、平成14年11月に第1回目を開き、今回で3回目の話し合いになりました。